

事業番号	15 06 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課	
		実施期間	H30 ~	E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

・多様な特性等により学びづらさを抱える児童生徒が増えており、多様な学びや学びの場の保障が必要  
 ・探究的な学びの一層の充実が求められる中、探究学習の様相は多様であるため、具体的な実践方法に戸惑いがみられる。  
 ・変化の激しい時代において、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、主体性を発揮しながら、個別最適な学び、協働的な学びにより、教職生涯を通じて学び続けるといった、新たな教師の学びを実現していく必要がある。

### 2 事業目的

・一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる  
 ・探究を中核とした学びを充実し、一人ひとりが自ら考え、他者と協働する学校づくりを支援する  
 ・教職生涯を通じて学び続ける新たな教師の学びを実現する

### 3 事業目的を達成するための取組

**①長野県教育をけん引する新たな学びの仕組みを構築**  
 ・【新】探究を中核とした学びの充実、個別最適な学びの推進、多様な学びの場の創造を図るため、実践研究に取り組む学校に対するアドバイザー派遣や先進的な取組を行う県内外の学校への視察研修等を実施するとともに、成果を発信していくためのフォーラムを開催

**②教職生涯を通じて学び続ける新たな教師の学びを実現する教職員研修の実施**  
 ・初任者から管理職まで必要な資質能力を育成するため、キャリアステージに応じた教職員研修を実施  
 ・【新】長野県の次代の教育を担う教員が資質・能力を高めるため、先進的な取組を行う学校への視察研修の支援や私学・民間等と連携した研修プログラムの開発を実施

**③校園種を超えて学び合い質の高い幼児教育の実現を推進する信州幼児教育支援センターの運営**  
 ・校園種を超えて学び合い質の高い幼児教育の実現を推進するため、信州幼児教育支援センターによるフィールド研修を実施  
 ・保育者に必要な資質能力を育成するため、キャリアステージに応じた研修を計画実施  
 ・幼保小接続カリキュラム（理論編・実践編）に基づいた研修の実施

**④子供たちの心身の健やかな成長に資する教育活動の推進**  
 ・道徳教育の一層の充実を図るため、有識者等による道徳教育推進委員会を設置し、豊かな心を育むフォーラム等の実施

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値			
①	学びの改革を普及するためのフォーラム参加者数	人	-	-	-	-	800	↗	先進的な学びの改革に取り組む小中学校の成果を横展開するため、フォーラム参加者数を目標値として設定
②	研修参加者の研修講座のふりかえり「講座のねらいを達成」	%	-	57	-	54	60	↘	研修に参加した教職員の自己評価（「講座のねらいを達成した」とする者）が一定水準を上回るよう6割を目標として設定
③	信州幼児教育支援センターによる各研修への参加者数	人	-	579	-	2,001	2,000	↗	令和4年度に拡充した研修を継続し、令和5年度も引き続き同規模の参加者を目標として設定
④	豊かな心を育むフォーラムへの参加者数	人	-	75	-	132	100	↗	豊かな心を育むフォーラムについて、令和3年度、4年度の実績を考慮し、令和5年度の目標を100名として設定

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況					目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	幼保小合同研修会の実施率	%	2020 (R2)	45.8	2021 (R3)	46.6	2022 (R4)	-	2027 (R9)	56.6
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	「学校へ行くのが楽しい」と答える児童生徒数の割合	%	2020 (R2)	-	2021 (R3)	81.3	2022 (R4)	83.7	2027 (R9)	現状以上
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と答える児童生徒の割合	%	2020 (R2)	-	2021 (R3)	73.7	2022 (R4)	76.5	2027 (R9)	現状以上
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていた」と答える児童生徒数の割合	%	2020 (R2)	-	2021 (R3)	81.1	2022 (R4)	81.1	2027 (R9)	現状以上

### 6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)		111,267		111,267	89,466	8.0
	(要求)		120,687		120,687	100,403	
R4年度	0	99,224	0	99,224	86,261	8.0	
R3年度	0	110,417	0	110,417	95,692	42,017	8.0
予算要求からの 主な変更点	・認知や発達の特성에応じた学びの充実実証研究事業について、政府予算案の動向を踏まえ、事業費を減額。 ・学びの改革パイオニア校構築支援事業の一部について、他事業において実施可能であるため報償費や旅費を減額。						

事業番号	15 06 03	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	<b>未来を切り拓く学力の育成事業費</b>		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
1	<b>幼児教育振興事業費</b>		5,309 千円	6,641 千円	(予算案) 7,021 (要求) 7,021 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	信州幼児教育支援センターの運営	直接	幼稚園及び保育所等の園種を越えて幼児教育の質の向上を図るため、関係団体との連携、保育者研修の見直し等を実施する。 運営会議2回、専門部会6回			
2	保育者の資質能力の向上	直接 委託	質の高い幼児教育を実施するため、キャリアステージに応じた研修を実施。また、先進的な取組を行っている幼稚園、保育所及び認定こども園等でフィールド研修を委託する。（委託先：県内の幼児教育施設等） キャリアステージ研修5回、フィールド研修委託5件			
3	幼保小の学びの接続	直接	幼保小接続カリキュラム（理論編・実践編）に基づいた研修を実施する。 研修2回			
4	保護者・地域等の理解の促進（情報発信）	直接	保護者及び地域等へ理解を促進するため、情報誌による情報発信をする。 情報誌への掲載2回			

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
2	<b>道徳教育総合支援事業</b>		9,495 千円	3,485 千円	(予算案) 3,335 (要求) 3,335 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	道徳教育総合支援事業	直接	道徳教育の質的転換を一層図るため、学習指導要領を踏まえた多様な指導方法の開発や指導力向上のための教員研修等を推進する。 教育フォーラム1回、研究協議会2回開催			

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
3	<b>地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業</b>		0 千円	0 千円	(予算案) 6,533 (要求) 7,038 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	地域文化クラブ活動体制整備事業	直接 委託	地域全体で中学生の多様な文化活動の機会を確保するため、運営組織や団体等の持続可能な運営に向けた体制整備や指導者の確保等を支援する。 県総括コーディネーター1名、体制整備等の実証事業			

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
4	学びの改革パイオニア校構築支援事業	0 千円	0 千円	(予算案) 2,140 (要求) 4,674 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	【新】学びの改革パイオニア校普及促進事業	直接	先進的な学びの改革に取り組む小中学校の研究成果等を発信するフォーラムを開催する。 ミニフォーラム4回、フォーラムながの1回	
2	【新】多様な学びの保障研究事業	直接	不登校等の多様な児童生徒の学びの保障について実践研究を行う学校に対し、アドバイザー派遣や先進校視察の支援を実施する。 小中学校4校において研究	
3	【新】個別最適な学び研究事業	直接	児童生徒自らが学習を調整、最適化する学びを実現するため、一人ひとりに合った教材を使用した最先端の自由進度学習等を研究する。 小中学校4校において研究	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
5	認知や発達の特徴に応じた学びの充実実証研究事業	0 千円	0 千円	(予算案) 4,058 (要求) 7,673 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	【新】認知や発達の特徴に応じた学びの充実実証研究事業	直接	認知や発達に特徴があり、学びづらさを抱える児童生徒の学びを充実するため、特徴に応じた教育方法の在り方や個々の特性を把握するアセスメントの活用による学びの実証研究を実施する。 小中学校4校において研究	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
6	教職員研修事業費	72,482 千円	65,171 千円	(予算案) 70,385 (要求) 72,825 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	教職員研修事業費	直接	教職員の資質能力を向上させるため、初任者研修等の法定研修やキャリアに応じた各種研修を実施する。 初任者、5年目、10年目、20年目以上の者への資質向上研修を実施	
2	フロンティアスピリッツ事業(自己啓発研修)	補助金	小・中・高等・特別支援学校の教職員が業務と関連する知識や技能を幅広く習得する取組を支援するため、旅費の一部を補助する。 小・中・高等・特別支援学校の教職員の研修支援35名	
3	【新】特色ある私学・民間等と連携した「探究」研修プログラム開発運用事業	直接負担金	探究を中核とした学びの改革を推進するため、学びの改革を担う教員研修の充実や、私立学校・民間企業等と連携した教員養成研修プログラム開発を実施する。 検討会2回、小中学校2校での理論と実践、小中高のモデルリーダー育成約40名	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
7	総合教育センター研修費	19,834 千円	18,262 千円	(予算案) 16,852 (要求) 17,178 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	総合教育センター研修費	直接	『個人と社会のウェルビーイングの実現』に向けて、教員の資質能力向上を図る研修、専門的な知識・技能を習得する研修及び、教育課題を解決する力を育成する研修を行う。 希望研修、校長・教頭向け研修等講座数297件	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
8	総合教育センター研究費	943 千円	943 千円	(予算案) 943 (要求) 943 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	総合教育センター研究費	直接	本県教育の今日的課題やセンターの事業に関する喫緊の課題に対応するため、研究協力者及び研究協力校とともに、時代を先取りした研究調査を推進する。 調査研究事業5件	